

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2021年2月6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」多治見校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数以上の職員配置になっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリー化には今後も務めていきたいと思いをします。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを実施し、POCAサイクルを意識しながら、業務改善に取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎回、療育内容を説明し、改善を図る努力を継続しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開するとともに療育室の入り口に掲示しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討会に参加や、資料検討会などを事業所内で行うなど研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			SDQや事業所内で作成した「学習進度表」などのアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムを事前に交流し、常に事業所内で改善をはかり、支援にあたるようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			その時の子どもの状況や反応をみて、代えることができるようにいくつかのプログラムを用意しています。ただし、固定化して安定している利用者さんもみえますので臨機応変に対応しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		課題を平日、休日に応じて設定はしていません。ただ、長期休暇については必要に応じて設定することもあります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	集団活動は行っていません。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、確認行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援の次の日に行い成果と課題を明確にしています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動プログラムに記録を残すのはもちろん、個人が使用したプリント類も後から検証できるように保管し、支援に役立てています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行うのはもちろん、必要に応じて計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			アセスメントとガイドラインを基にして支援計画を作成しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		お子さまの支援に携わる職員が会議に参画できるように調整していきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要に応じて行います。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当者がおりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要があれば連携していきます。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当者がおりません。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて助言を受けます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	必要があれば実施します。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	必要があれば実施します。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援終了後に保護者へのフィードバックの時間を設けています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今後実施できるよう、職員の研修をおこなっています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。また、見直しがあった場合、その都度説明をしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援終了後または支援中に行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	自事業所では企画しておりません。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			誠実に対応するように心がけています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			次月の予定は早めに連絡するようにしています。また、毎週の利用状況をSNSで連絡しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報が記載された書類は鍵付き書架に保管しています。ブログの記載については個人が特定されないよう内容面で配慮しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等が円滑にできるように工夫しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	行事自体を実施しておりません。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者への周知を今後徹底していきたいと考えています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に記載し、事業所内にも掲示しています。想定される利用者さんには事前に説明し、計画にものせる予定です。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				食事提供はありませんが、実態把握につとめ必要があれば対応いたします。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で共有しています。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」多治見校

保護者等数(児童数)：22 回収数：16 割合：73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	0	職員の配置数は問題ないですが、専門性には欠けていると思います。→今後、専門性をさらに磨いていくように努力してまいります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	10	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	15	1	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	14	2	1	コロナの影響でできることをやっている状況。もう少しやれることが増えるとうい。⇒遠隔支援について全国の「きらり」の実践も参考にしながら多様なプログラムが展開できるように努力していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	9	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	3	11	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	2	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	3	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	2		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	1	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	7	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	3		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12	2	1	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。